

令和3年度 北多摩北部地域保健医療協議会 会議録

- 1 開催方法 書面開催
 ※令和3年9月22日（水曜日）、委員宛に資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

2 北多摩北部地域保健医療協議会委員

氏名	現職	氏名	現職
清水 寛	一般社団法人 小平市医師会長	福留 潮	東村山市立回田小学校長
黒田 克也	公益社団法人 東村山市医師会長	上木 隆人	公衆衛生活動研究所長
田中 英樹	一般社団法人 清瀬市医師会長	奥澤 康司	元東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長
熊野 雄一	一般社団法人 東久留米市医師会長	島田 美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 至誠こどもセンター所長
指田 純	一般社団法人 西東京市医師会長	手島 陸久	日本社会事業大学元教授
水上 良二	一般社団法人 東京都清瀬市歯科医師会長	西村 一弘	公益社団法人 東京都栄養士会長
北村 晃	一般社団法人東京都 東久留米市歯科医師会長	田中 宏治	立川労働基準監督署長
浅野 幸弘	公益社団法人 西東京市歯科医師会長	増田 敏喜	東村山市商工会長
石塚 卓也	一般社団法人 東村山市薬剤師会長	長 孝	シチズン健康保険組合 常務理事
上西 紀夫	公立昭和病院長	小山 康子	公募委員
高西 喜重郎	(公財)東京都保健医療公社 多摩北部医療センター院長	三浦 周一郎	公募委員
阿部 康二	国立研究開発法人国立精神・ 神経医療研究センター病院長	村田 明美	公募委員
田中 勇	警視庁小平警察署長	篠宮 智己	小平市健康・保険担当部長
藤原 正直	東京消防庁小平消防署長	山口 俊英	東村山市健康福祉部長
金子 恵一	社会福祉法人 小平市社会福祉協議会長	矢ヶ崎 直美	清瀬市生涯健幸部長
住本 知子	国立研究開発法人国立精神・ 神経医療研究センター病院 家族会むさしの会会長	小堀 高広	東久留米市福祉保健部長
大山 房七	北多摩北部食品衛生協会会長	佐藤 謙	西東京市健康福祉部ささえ あい・健康づくり担当部長
辰島 清江	東村山環境衛生協会会長	山下 公平	東京都多摩小平保健所長

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 代理出席者

なし

5 議事

(1) 北多摩北部地域保健医療協議会・部会について

ア 会長の互選

イ 部会及び部会委員の構成について

(2) 令和2年度各部会報告及び地域保健医療推進プラン中間評価について

ア 推進プランの概要、推進方法について

イ 専門3部会（令和3年3月書面開催）報告

ウ 地域保健医療推進プラン中間評価について

6 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

7 意見のとりまとめについて

意見書は、議事については「賛成」または「反対」を記載していただく形式としており、全ての委員の方から意見書をいただき、議決事項は承認された。

(とりまとめ結果は別紙のとおり)

令和3年度北多摩北部地域保健医療協議会（書面開催）各委員からの意見

1 北多摩北部地域保健医療協議会・部会について

(1)会長の互選について

賛成 35名 、 反対 0名

(2)部会の設置について

賛成 35名 、 反対 0名

	意見	事務局コメント
1	部会構成に特に問題なしと考えます。	委員の方、全員に賛成していただきましたので、会長には前期に引き続き手島陸久委員に御就任いただきました。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・手島先生は専門分野において実績のある方なので、山下所長が推薦される手島先生に私も賛成します。 ・部会構成について、委員名簿を見ますと各分野（区分）からまんべんなく選出されていますので、これでよいと賛成します。 	また、副会長につきましては、地域保健医療協議会設置要綱第6の2に基づき、手島会長より小平市医師会長の清水寛委員を、部会委員につきましては、地域保健医療協議会設置要綱第7の2に基づき、手島会長より事務局案のとおりご指名いただきました。

2 地域保健医療推進プランの中間評価について

賛成 34名 、 反対 0名 、 無記入 1名

	意見	事務局コメント
1	<p>○コロナ感染症流行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案を見て改めて感じたのですが、今世界を轟かしているコロナ感染症流行について、北北プランではどのように取り扱うのでしょうか。第2章第1節の健康危機管理の推進 健康危機管理体制の充実でしょうか。第4節の感染症対策の推進でしょうか。それとも第3章の災害対策 災害時保健医療対策でしょうか。 ・そもそも計画策定時点でコロナ感染症は想定されていなかったもので、評価指標等位置づけが曖昧です。このような新規感染症発生時の圏域対応をこれからでも検討していく必要があると思います。次期計画改定では盛り込むことが必要になります。 ・コロナ感染症の影響と対策については協議会の全部会で検討するのが良いと思います。この課題に関する意見、評価を集めて計画評価とし、今後の推進を図る資料として準備をされると良いと思います。 	<p>今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、国は令和6年度からの第8次医療計画の記載事項に「新興感染症等拡大時における医療」を新たに追加し、今後、「基本方針」や「医療計画作成指針」に具体的な内容を盛り込むこととしています。また、都においても、現在新型コロナウイルス感染症に係る都全体の保健医療体制の課題の検証や見直しについて着手したところで、保健所においては、こうした国・都の動きを踏まえつつ、地域保健の諸課題について随時、協議会や各部会で取り扱ってまいります。</p>

2	<p>評価として「目標値」とあるが、現状は「上げる」「下げる」の目標である。どのくらい上げるのか、どのくらい下がったのかが曖昧に終わってしまう。次期プランでは、なるべく数値化することが望ましいと思います。後半での検討を望みます。</p>	<p>指標の目標値については、健診受診率のように国や都で目標値を定めているものについては、その値と比較してまいります。その他の項目につきましては、東京都全体の進捗状況との比較等、評価が曖昧にならないよう検討していきたいと思います。</p>
3	<p>・小平市が自己評価1という項目がありましたが、これはどういうことなのか。全く手をつけなかったということでしょうか。</p> <p>・清瀬市と東村山市は隣接し、ともに市内に病院が多いという印象を持ちますが、両市を見て評価で比較すると、医療面で清瀬市の自己評価が少々厳しいと感じました。自己評価は厳しいくらいの方がよいとも思えますが、いかがなものでしょうか。</p> <p>・東久留米市の住民ではないので詳しくはわかりませんが、医療提供体制や高齢者福祉が5というのは完璧ということなのでしょう。他市に住む身としてはそこまでかというイメージなのですが、自己評価なのでこれでよいのでしょうか。それと同市は3の数も他市に比べてやや少ないと思いました。</p>	<p>本プランの進捗状況の評価は、計画期間6年間の目標に対する達成度を各施策・事業の実施主体による自己評価で行っております。</p> <p>自己評価1があった項目は、認知症対策の項目ですが、新型コロナウイルスの影響で大幅な事業の中止や定員の削減を余儀なくされ、このような社会の変化から今後の取組の方向性を検討する必要があることから1とした、とのこと。ただ、全く手を付けていないということはなく、指標としている認知症サポーターや認知症サポート医の数は令和2年度も着実に増加しています。</p> <p>また、評価が5、というのは完璧というより、目標達成に向けて順調に取組を進めている、ということ。です。</p>
4	<p>コロナ禍にあって様々課題がありますが、特に各市ともに受動喫煙対策のさらなる強化が必要と痛感いたします。各市の喫煙状況の事実の把握の急務と、皆が見て注意を可能にできる販促物（ポスター、チラシ、市報）など、市民の「見える化」を切に希望致します。</p>	<p>受動喫煙防止対策については、たばこの健康への影響や法令の正しい理解についての普及啓発が非常に重要です。新型コロナウイルス感染症により保健所の受動喫煙防止対策も大きく制限を受けましたが、今後はこちらの提案のあった媒体も含め、効果的な普及啓発活動に努めてまいります。なお、喫煙状況の実態調査は技術的に難しい問題が多いことから、国・都等の調査内容を随時参考情報として提供してまいります。</p>
5	<p>フレイル予防やこころの健康を保つための心の健康づくりを推進していくことが大事であると考えています。</p>	<p>住民のいのちと健康に関わるフレイル予防やこころの健康づくりについては、新型コロナウイルス感染症による生活の変化に対応した取組が求められています。圏域内での各機関の取組が更に拡充されるよう、課題と対応を共有してまいります。</p>
6	<p>対面でのご指導をして頂きたいです。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため保健所で実施する各種講習会が中止となりましたが、今年度は、オンラインでの開催、動画配信、人数を制限して集合方式で開催など、対象者や内容を考慮しながら開催するようになりました。今後も、感染対策に留意しながら、より効果的な講習会となるよう開催方法を検討してまいります。</p>

7	各市とも達成度4と素晴らしい効果がでてと思う。	今回の中間評価は、平成30年度から令和2年度までの3年間（データによって対象年度が平成28年度または平成29年度からのものもあり）の取組に対するものです。今後、新型コロナウイルス感染症の影響がより大きくなることも想定されます。圏域内の良い取組を共有し、新型コロナウイルス感染症の影響を低減できるように努めてまいります。
8	丁寧におまとめいただき、ありがとうございます。	

3 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について（情報提供）

	意見	事務局コメント
1	都と保健所、市、民間医療機関との間の（国も含め）連携、役割の分担、協力のあり方について、多くの課題が提起されたと思います。今後にそなえて十分に検討されることを望みます。	第5波では多くの課題がわかるとともに、国や都から対策が次々と打ち出されました。第6波に向けて当圏域でも関係機関間で協議し、取組を進めています。
2	患者数の人口10万対でみると、新宿、渋谷をはじめとする区部は、その数において市部、特に多摩地区より多いのですが、8/1順位からの変更を見ると7したのが、区部は6で市部は10でした。また、8/1から9/1までの増加数を8/1の患者数で割った増加率でみると、新宿、品川、渋谷といったところが40～50%に対して、多摩北部（5市）は平均して70%（西東京だけが69%）でした。たしかにニュースなどでは、新宿、渋谷が取り上げられることが多いし、数字的にはたしかに多いのですが、率でみると多摩地区も低くはなく、安閑としてはられないのかと思いました。	患者数の人口10万対では、値の最も少ない区の方が、値の最も多い市より患者数が多くなっています。ただ、多くの人が通勤・通学等で広範囲にわたり移動するため、市部の方が安全とは一概に言えません。新型コロナウイルス感染症の患者が完全にいなくなる限り、基本的な感染予防対策は必要です。引き続き関係機関と連携しながら普及啓発に努めてまいります。
3	今後の患者発生をどのように予測しているのか。現時点の見込みをお示し願いたい。	患者データについては、毎週開催されている東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議や東京iCDCにおいて分析されています。令和3年10月1日付けの国通知では、第5波を振り返るとともに、今後の患者数の予測に基づいた医療体制の確保、保健所体制の整備を求めており、当保健所でもその対応を進めています。
4	陽性者の数も大切だとは思いますが、今後、死亡者や重症者の分析は行われるのでしょうか。東京iCDCが設置されており、また、サンプルは充分にあると思います。各保健所、医療機関で蓄積されたデータを是非生かしてほしい。データ、分析を基に、今後の地域での感染症対策を構築すべきと考えます。	

5	<p>当該資料からは、患者発生状況は知れても、都の対応が見えませんでした。</p> <p>第5波を経験し、知っておきたいのは、自宅療養フォローアップセンターの体制、対応状況です。現状どうなのか、また第5波の経験を踏まえた第6波への備え、体制の準備等はあるのでしょうか。</p>	<p>東京都の対応については、ホームページに随時掲載されるため、今回は管内の発生状況のみの資料とさせていただきます。直近では、令和3年10月21日の東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第64回）の資料「新型コロナウイルス感染症対策に係る東京都の取組－未曾有の感染を乗り越えて－」に、これまでの発生状況と都が講じてきた対策がまとまっておりますので、ご確認ください。</p> <p>https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/saigai/1013389/1020459.html</p> <p>多摩小平保健所においても、第5波を振り返り、第6波に備えた取組を進めています。また、「自宅療養者等に対する医療支援強化事業」や「中和抗体薬治療促進事業」等について、管内の医療機関等と連携して取組の強化を進めています。</p>
6	<p>感染予防を行うために啓発活動を推進していくことが、大事であると考えています。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防は、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットやマスク・手洗いなどの実施がとても重要です。保健所では、保健所広報紙「あなたにおくる健康情報」への記事掲載、ホームページ掲載等に加え、子供向けオリジナル啓発動画「しっかり手洗い、きっちりマスク」を作成し、東京動画のサイトに掲載しました。また、各市とも連携して感染防止の啓発活動を推進してまいります。</p>
7	<p>日々、大変な中、御努力、御尽力いただいて感謝申し上げます。</p> <p>さらに年末の予想されるクラスター、感染者増加を見すえた医療体制を都、国と連携いただき、自宅待機で死亡する人が出ないよう、万全の対策強化、具体的強化をさらに願っております。</p>	
8	<p>長期にわたる保健所の皆様のコロナ対応お疲れ様でございます。終わりが見えないのはつらいですね。</p>	<p>第4波、第5波につきましては、医療機関、医師会、市等、関係機関の皆さまに御理解、御尽力いただき、何とか乗り越えることができました。これまでの対応で明らかになった課題に対応できるよう、引き続き関係機関と連携しながら対策を進めてまいります。</p>
9	<p>新型コロナ対応に日夜取り組まれている関係者の皆様に感謝申し上げます。</p>	
10	<p>了解しました。</p>	
11	<p>大変参考になります。</p>	
12	<p>都心部に比べ少数ですが、対応お疲れ様です。</p>	

4 その他

	意見	事務局コメント
1	<p>新型コロナで対人（対面）事業を行うことが困難な中、また限られた人員体制の中で計画事業を縮小せざるを得ない状況と思いますが、引き続き工夫を図りつつ事業を進めていただくようお願いします。特に、自殺対策など新型コロナの社会情勢の故、一層その事業の重要性が増していると思われる分野において、重点的な対応をお願いします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は多岐にわたりますが、御指摘のとおり、自殺対策など命と健康に関わる地域保健の重要課題について、関係機関と連携して取組を進めてまいります。</p>
2	<p>○動きを作るヘルスプロモーションプランとして ・動きを作ると言う視点を非常に大きな特徴として圏域計画は位置づけられてきています。それは全分野で先進事例を収集して紹介することでした。コロナ禍にあっては、新しい動きを作る事は困難なので、コロナ禍でこれだけ維持出来た、その要因はこのような事だったという事例でも非常に貴重なので、その様な呼びかけをして、事例を集めてほしいと思います。 ・これまでも社協や市が把握している健康に関連した住民活動組織数や内容に関する資料を部会に提供してもらっていましたが、それも継続していただいて、その数、内容の変化が捉えられることも非常に貴重だと思います。実質的に住民活動が減少していると思われるし、再開に際しても不安をまだ大きく抱えていると思われる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、人が集まる事業の実施方法を、大きく見直す必要が生じています。そんな中、各機関が工夫を凝らして実施している事業を共有することは非常に重要です。先進事例等につきましては、引き続き把握に努め、部会等で共有してまいります。</p>
3	<p>今後のCOVID-19流行に備えて、保健所、各市、医師会、病院との定期的な協議が必要と考えます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応において、関係機関との緊密な連携は不可欠です。必要な時に、時期を逸せず、情報共有・意見交換を行ってまいります。</p>
4	<p>多方面にわたる詳細な資料を送付いただき、ありがとうございました。まだ、十分に読み切っていませんが、それでもいろいろなことがわかり、有意義でした。 コロナの状況が早く改善され、次回は会場で対面方式の形で多くの委員の方と意見交換等できたらと思います。</p>	<p>昨年度に続き今回も書面開催となり、十分な意見交換ができず、申し訳ありません。次回こそ対面方式で開催したいと思っています。</p>
5	<p>私、個人的には、市、都、国のコロナに関する情報配信を、ラインやメールで毎日、瞬時に受信し、情報を得ております。 全市民がまだまだ危険なコロナ対策のためにも、情報共有をし、お互いに危機管理が出来ますようお願いしております。</p>	<p>新型コロナウイルス関連の情報は、東京都ホームページ等で多岐にわたって発信されていますが、保健所においても必要とされる情報をわかりやすく発信してまいります。</p>

6	<p>当会では自宅療養者の宅配食品に関わらせていただくことになりましたので、本圏域においても自宅療養者への食支援をさせていただきます。（COVID-19感染者支援）</p>	<p>新型コロナの感染が拡大した際に、第5波のような状況とならないようにするために、東京都も取組を進めていますが、様々な機関が関わりより強固な対策となります。御協力に感謝いたします。</p>
7	<p>大変な事態が続き、ご苦労様でした。皆様のご奮闘に心より感謝申し上げます。とはいえ、まだ決着したとは言えない状況なので、これからもよろしく願い申し上げます。</p>	<p>第4波、第5波につきましては、医療機関、医師会、市等、関係機関の皆さまに御理解、御尽力いただき、何とか乗り越えることができました。これまでの対応で明らかになった課題に対応できるよう、引き続き関係機関と連携しながら対策を進めてまいります。</p>
8	<p>日々、コロナ対応ありがとうございます。</p>	